

平成29年度第1回競技委員会

平成29年6月16・17日(金・土)

愛知県名古屋市(ルブラ王山)

出席者…釜井、諸江、根岸、安藤、伊勢、恒松、豊田、
渡邊、和田、永井、齋藤

1・部長挨拶(釜井部長)

2. 大会開催関係

①平成29年度全国高等学校総合体育大会(宮城県; 齋藤)

☆プログラム編成会議の期日、場所、議事の確認

- ・短冊(個人・学校対抗)の色付き部分を変更した
- ・シード選手の確認、会議次第、参加者の確認
- ・作成当初の振込先(口座名義)に間違いがあり、5月初めには訂正をHPに掲載した
- ・気仙沼市実行委員会担当者が変更になった(佐藤さん→千葉さん)

☆実施要項について

- ・用具検査基準(要項のマスクケーブルのらせん状のケーブルは禁止になったので削除する)
- ・サーブルのグローブについて、品薄のため、現行のままで良いとする

☆練習会場について

- ・4カ所用意した。それぞれの会場について説明あり
- ・気仙沼市総合体育館サブアリーナ及び武道場は審判器の使用不可

☆競技会場について

- ・ピスト配置を確認
- ・ピストの真ん中に通路を作り、報道関係の写真スペースとする
また、報道担当は鈴木先生(気仙沼高校)
- ・得点灯、スコア、チーム勝敗数、時計は全面に表示されるタイプを使用する
- ・開会式の座席配置ならびにアリーナ詳細(1~4ピストを撤去し、選手席を設ける)について確認

☆競技日程について

- ・昨年度の大会同様の日程で実施する

☆競技役員編成について

- ・全国高体連の役員は、7月29日(土)入り、8月5日(土)帰り
- ・技術委員が不足しているので、ピスト指導員から3名(和田、大槻、渡邊)補充する
- ・ピスト指導員を2名追加する
- ・技術委員会事務局次長に浅井さんを追加
- ・審判調整担当は、大槻先生が担当する

☆競技について、罰則表、メンバー表、記録用紙、用具検査関係、式典次第(開会式、表彰式、閉会式)、駐車場について確認

- ・罰則表に、第1グループの1.19肩の転移について文章化してもらい追加する
- ・式典次第の前年度学校対抗の県名岐阜県→大分県に訂正
- ・開会式終了後に前年度まで副部長だった北海道の池田先生の表彰を行う
- ・用具検査のスタンプの色は、はっきり分かれば良い
- ・ピブについてもスタンプを押す
- ・個人対抗、学校対抗の成績発表者ならびに表彰者の確認
- ・開会式の際、入場行進を実施したい→東北大会で実施してみて、検討する(最終決定は抽選会の時)
- ・表彰式も入場行進を計画したい(時間を取らなければ実施したい)

☆配宿について

- ・広域配宿になる
- ・本部宿舎は、アコモイン気仙沼になる(抽選会と同様)
- ・役員宿舎は、夕食が付かないため現金1500円で対応する
- ・本部役員の駐車券は郵送してもらう

②平成29年度全国高等学校選抜大会(石川県;欠席のため根岸先生が対応)

☆期日、会場、交通アクセス、練習会場、会議場、宿泊関係等進捗状況について説明あり

- ・担当が西垣先生→鴨田先生へ変更
- ・宿舎が足りない、審判器が不足しているので、今後西垣先生と連絡を取り、前年度までの引き継ぎを行ってもらう
- ・諸江先生、安藤先生と相談してもらい、常任委員会で説明してもらう

③平成30年度全国高等学校総合体育大会(愛知県;豊田)

☆期日、会場(競技会場・その他会議場・練習会場)等進捗状況について説明あり

- ・抽選会は、知多市勤労文化会館でおこなう
- ・全国高体連の控え室は、勤労文化会館2階研修室1にお願いしたい
- ・練習会場は、競技場内ならびに隣の勤労文化会館1階の「やまももホール」を予定している。ただし、やまももホールの床にはシートを引く方法を今後検討する。また、八幡中学校と知多翔洋高校の2ヶ所を予定している
- ・総合テストを購入できないので、2セット全国高体連が購入を検討している。間に合わなければ、他県から借用を検討しておく

☆実施要項について

- ・プログラム編成会議は、プログラムの構成の関係上、例年より1週間繰り上げて、6月28日(木)~30日(土)。申込み締め切日の6月20日を厳守してもらう

☆輸送について

- ・名鉄を利用して下さい。シャトルバスは考えていない。
- ・本部宿舎は、金山を検討している。会場まで30分、電車or車で移動

④平成30年度全国高等学校選抜大会(愛媛県；永井)

☆期日、会場、日程等進捗状況について説明あり

- ・幹旋業者は、東武トップツアーに依頼
- ・審判器については、和歌山県に今後依頼する予定
- ・会場は、10ピスト取れるが、ステージがない、また観客席がやや不足している。アリーナ内のスタンドは出せない
- ・会議場は、今後検討する

3. インターハイ「競技(学校対抗の三種目導入)について」の検討(伊勢)

- ・提案資料(タイムテーブル、参加者人数)あり、インターハイもリレーを今後導入してみてもどうか。しかし、参加人数が多くなり過ぎるので、今後時間を掛けて継続審議する
- ・要項の競技についての高体連ルールについての訂正を検討する→常任委員会までに準備

※選抜優勝校は、全日本選手権に協会推薦枠で出場できるようになった。

出場しない場合は、2位の学校に推薦枠が移る

4. 部活動指導員の扱いについて(根岸)

☆今年度から部活動指導員の監督、引率について説明あり

- ・外部指導者なのか、部活動指導員なのかの判断が付かない。校長からの委嘱を受けているかの確認が必要になる。資格審査の際に、外部指導者、引率責任者の欄が同じであれば、部活動指導員として判断→各学校の顧問に問い合わせる。不透明な回答の場合は、釜井部長と相談

5. その他

①登録について(和田)

- ・今年度もメールでのやり取りで登録を行った。また今年度より、日本フェンシング協会登録番号を導入している。現状では特に問題はなかった。ただし、数校登録方法に間違いがあるので、該当校には連絡する。

②指導者研修会について(恒松)

- ・去年は、フランスでの研修を実施した。本年度は、サーブルを実施検討している。講師は、京都の藤澤先生と長崎の笹田健一先生にお願いしている。日程は、12月15日(金)～17日(日)の3日間を検討している。会場は、未定であるが、現段階では、知多市民体育館のサブアリーナを予定している。